

## 現地状況報告書

おかやま国際協力大使 氏名 井上 満  
赴任国 ミャンマー

2月6日にミャンマーに着任し、1か月間は語学研修期間でした。3月から任地赴任し、3か月程経過したので、少し現地の状況を報告いたします。

任地の正式名称は Institute of Sports & Education Yangon という、直訳すると、スポーツ教育研究所ということになりますが、簡単に説明すると、日本の中学生、高校1年生くらいに当たる年齢の子供たちのアスリート要請学校です。学校敷地は広く、サッカー場だけで6面あり、野球場、バスケットコート、バレーボールコート、テニスコートから柔道、空手など武道場、そして、自分が指導しているマシジムなど、たくさんの種類のスポーツ施設があります。活動としては、全校生徒約650人のマシジム内での体造りの指導、コーチ陣に対してコーチングの指導、その他、現在はバレーボールの指導や器械体操にアドバイスをしています。また、5月からは新入生の体力アップ指導もしています。朝6時から7時が新入生への指導、午後3時からがマシジム内での各種目の生徒達への指導。5時からバレーボールの指導をしています。また、オフィス始業前に、事務員に日本語を教えています。活動は順調に進んでおり、各コーチとコミュニケーションも密に取れてきています。

次に、ミャンマーという国を少し紹介したいと思います。岡山県にも留学生の方など、多数ミャンマー人の方がおられますが、国民性は、とにかく人にやさしいです。どこか懐かしいというか、きっと昭和初期の日本ってこんな感じだったのではないかな、というような素敵な人ばかりです。

次に、任地のある元首都ヤンゴンですが、現在急激な発展をとげている最中であり、いろんな建物が建設中であつたり、大きいショッピングモール、スーパーなどもたくさんあつたりします。日本食の店もたくさんあり、スーパーではおにぎりやおもちまで売っています。その他、ミャンマー料理もおいしく、他国のレストランも日本と同じようにあります。

気候は30度前後であり、暑いという人もいますが、自分はこの南国の暑さは好きなので暑いとあまり思いません。日本の蒸し暑さに比べると、大変過ごしやすく感じます。

また、犯罪も他の海外と違い、非常に少ない感じがします。ミャンマー人に

聞くと、盗難などは普通にあるよ、ということなのですが、自分は日本と同じレベルの安全性だと感じています。

ヤンゴンはインフラも整備されており、綺麗に見えます。 運転技術が未熟と思われる方も多いので、事故には気を付けたいです。

気を付ける部分は、水です。 水は浄水されていないので、蛇口から茶色い水が流水します。 なので、絶対に飲み水は飲料水を飲まないで危険です。

自分もすでに4か月で3回おなかの調子を悪くしました。

しかし、そのようなことを差し引きしても、とても素敵な国です。

最後に現在の取り組みです。 自分のいるマシジムですが、しっかりマシン器具はそろっています。 しかしメンテナンスをしないので、そのメンテナンスを教える。 次に、ゴミをポイ捨てしないということ、毎週土曜日に生徒達が敷地内を清掃するのですが、清掃する前にゴミ箱に捨てればよいでしょ?? ということ伝える。 そのために、ミャンマー在住の日本人と生徒達と一緒に敷地内のゴミ拾いのイベントを行う予定です。 その様子はまた次回のレポートにしたいと思います。

しっかりミャンマーの国のために活動していきたいと思います。

